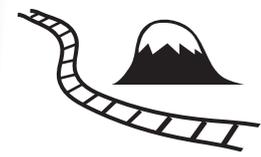




比布町ふるさと通信
2018年号

ひび



ふるさと会から

各会では会員を募集しています。各連絡先または比布町役場総務企画課まちづくり推進室広報係へお気軽にご連絡ください。



平成29年3月12日に開催された総会には会員90人が出席。久しぶりに会う友人らと近況などを報告。ふるさとの思い出話を花を咲かせました。

旭川比布同郷会

- 会長 合田春夫さん
- 会員 約350人
- 総会 毎年3月中旬ごろ
- 会費 5,000円程度
- 連絡先 今野浩安さん ☎0166-61-4492



平成29年7月9日に総会を開催。会員88人が出席し、特産品販売が行われたほか、「ふるさと」を合唱し、楽しいひとときを過ごしました。

札幌比布会

- 会長 橋本芳枝さん
- 会員 約400人
- 総会 毎年7月上旬ごろ
- 会費 5,000円程度
- 連絡先 高橋美伸さん ☎090-1640-3453



平成29年6月24日に開催した総会には会員68人が出席。今年の新米やメロンなどが当たる抽選会などが行われ、盛会のうちに終わられました。

東京比布会

- 会長 牧野 正さん
- 会員 約350人
- 総会 毎年6月下旬ごろ
- 会費 8,000円程度
- 連絡先 深瀬和昭さん ☎048-554-6765



「ふるさと寄附金」とは、自分の選んだ自治体に寄附を行うと、控除上限額内の2,000円を越える部分について税金が控除される制度のことです。寄附先の数や金額、回数に上限はなく、ご自身の控除上限額内であれば、実質2,000円の負担で複数の地域を応援できます。

★寄附金の使い道を指定できる

ふるさと納税では、寄附金を自治体がどのように使用するのか、その用途を選択することができます。寄附金の使い道の観点から、寄附先の自治体を選ぶこともできます。寄附への感謝として、地域の名産品などを「お礼の品」にして寄附者に届けています。

★寄附金の使い道（以下5つから）

- ①子育て支援・教育
- ②高齢者の福祉
- ③自然環境保全
- ④産業振興
- ⑤その他の事業



▼児童用図書

▼比布駅の改築

▼突哨山案内看板

寄附金はいろんなことに使われています！

詳しくはコチラです

検索 比布町HP

★お礼の品

久保農園のゆめぴりか精米 5kg

きしがみジンギスカン (1kg)

オシヨロコマ2枚・ヤマベ4枚一夜干しセット

その他にも、たまごかけごはんセット、メロン「甘栗」、苺ジャムなど合計11品から選ぶことができます。



- 9月4日 比布駅ホームの駅名看板が50年ぶりに掛け替えられる
- 9月17日 開駅120周年を記念し、比布駅前広場で「比布駅マルシェ」を開催。町内外から多くの人が訪れにぎわう
- 10月22日 比布町議会補欠選挙を実施（当選者・大熊勝幸・安藤裕子）
- 11月3日 藤本敏さんが瑞宝単光章を受章
- 11月26日 北海道日本ハムファイターズ179市町村応援大使プロジェクトにて、中島卓也選手・上原健太選手が比布町の応援大使に任命される。
- 12月17日 比布町長選挙を実施（当選者・村中一徳）
- 2月10日 びつぷスキー場ジンギスカン感謝デー、びつぷ雪男&雪女決定戦

比布町出身ではない私に対し、多くの皆様から絶大なご支援をいただき、心から感謝申し上げます。同時に、改めて、その責務の重大さを感じているところであります。

私は、この度の選挙を通し、地方消滅と人口減少対策について訴えさせていただきました。地方創生と相反し、地方消滅と言われております。地方創生ができない自治体は、いつか、消滅してしまう可能性がります。そうならないよう、私は、人口減少対策を最重要課題として訴え

12年間にわたり、全力で本町の発展に務めてこられた伊藤町政に心から敬意を表するとともに、歴代の町

多くの皆様のご意見をお伺いするとともに、町の最高決議機関であります町議会とも意思の疎通を図りながら、町民・議会・行政が一体となったオール比布の体制で、未来に向けた改革と進化を続けてまいりる所存でございます。

平成30年度は、第11次まちづくり計画の最終年度であり、新しいまちづくり計画の策定の年でもあります。



皆様のご挨拶を心からお願い申し上げます。町長就任にあたってのご挨拶といたします。

長とともに皆様方が大切に引き継がれ、開拓以来124年の歴史を積み重ねてきた比布町を、未来の子どもたちにもしっかりと引き継がれるよう、誠心誠意取り組む決意でございます。

- 8月27日 第50回全町ソフトボール大会を開催。10行政区・188人が参加
- 7月26日 びつぷスキー場の向かいに「比布のつりぼり」がオープン
- 7月9日 札幌比布会が総会を開催
- 6月24日 東京比布会が総会を開催（12月28日）
- 6月1日 大雪山フォトグランプリを開催
- 5月3日 菅野琴音さんが津軽三味線日本一決定戦上級者女性の部で優勝
- 4月29日 旭川比布同郷会が総会を開催
- PR番組「びつぷなんだもん！ シーズン3 マサエさんち」が放送・配信開始
- 久保田正義さんが旭日双光章を受章
- 佐藤直一さんが瑞宝双光章を受章
- 菅野琴音さんが津軽三味線日本一決定戦上級者女性の部で優勝



町政を担うにあたって

比布町長 村中 一徳

まちのできごと Town News 2017.3-2018.2



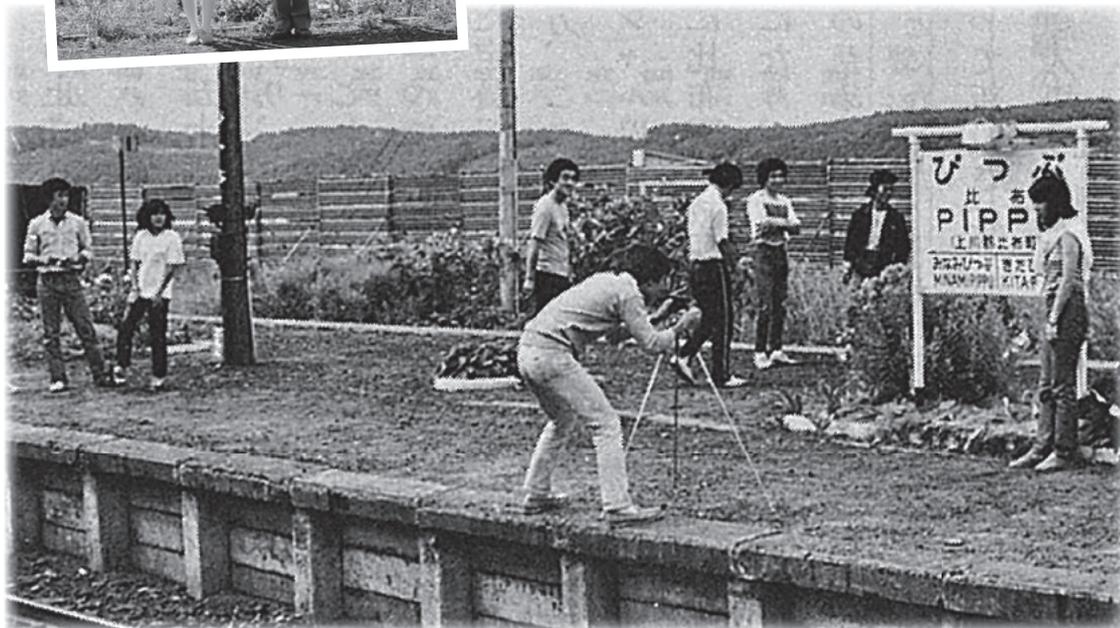
菅野琴音さん

歴史を訪ねて

開駅 120 年を記念し、昨年 9 月に開催された「比布駅マルシェ」。町内外から、出店やワークショップなどが立ち並び、駅前は大盛況を見せました。



町で制作したピップエレキパンのCMのパロディ動画。SNSや動画サイトなどで現在まで、累計約4万回再生されています。(平成27年12月配信)



当時、観光客でにぎわいを見せる比布駅のホームのようす。夏場には本州ナンバーの車やバイクが絶えず、同じくテレビCMの舞台となった比布神社も観光コースになりました。

比布駅ブームが到来

昭和55年8月、「ぴっぷ」の駅名がテレビに登場したことから、新聞紙上や週刊雑誌などにも載るなど、本町の名が一躍全国に知れ渡ることとなりました。

磁力で肩こりをほぐすはり葉『ピップエレキパン』（ピップ株式会社）の商品宣伝のCM撮影に、比布駅が舞台となったのがそもその始まりです。

前年の54年夏、道内一周旅行中の本州の大学生3人が列車の窓から「ぴっぷ」駅を発見。ぜひともここで「ピップエレキパン」のCMをと、さっそく署名運動などを通して大学マガジンという雑誌で呼びかけたのがそのきっかけといわれています。

同社CMの名コンビである横矢勲会長（故人）と女優の樹木希林さんの二人が比布駅ホームに立ち、横矢会長が一言「ピップ」と言いかけたとたんに急行列車が通り過ぎるというコミカルな内容でした。

テレビ放映以来、道外からの若者を中心に、ときには貸切バスも連なるなど、比布駅には連日観光客が押し寄せました。入場券の売り上げはうなぎ昇りとなり、一日千枚以上販売される日もありました。

（参考・比布町史）

発行・編集

ふるさと通信『ぴび』平成30年3月7日発行(通巻第18号)

■発行 比布町

■編集 総務企画課まちづくり推進室広報係

〒078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111(代表) 0166-85-4802(総務企画課直通)

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



まちの人口

総数 3,792人

男 1,778人

女 2,014人

世帯数 1,826世帯

■平成30年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信「ぴび」は、比布を離られた人と比布を結ぶ情報紙です。

みなさまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。

「ぴび」とは、「比布」という地名の語源となったアイヌ語です。比布は以前「ピプ」または「ピプ」と呼ばれていました。